

創立50年を越えて新しいスタート!!

家庭・地域から信頼される、「未来の学校」づくり

ネクスト高特 ～ 伝統の力 × 共創 × 対話 ～

【学校教育目標】

- 1 児童生徒一人一人に応じた「確かな学び」を育てる
- 2 豊かな心を育み、健やかな体を育てる
- 3 自立と社会参加を目指し、自分で考え、自分で決めて、自分で行動できる力を育てる
- 4 仕事の大切さを知り、誇りをもって働く力を育てる
- 5 多くの人たちとの交流をとおして、共感的な人間関係を育み、豊かな人間性を育てる



【国・県の方針等】

- 学習指導要領
- 新・群馬県総合計画
- 第3期群馬県教育大綱
- 群馬県教育ビジョン(第4期群馬県教育振興基本計画)
- 第3期群馬県特別支援教育推進計画
- 学校教育の指針
- 県立学校教育指導の重点
- 提言 R7～多忙化解消協議会～



《目指す学校像》

「児童生徒にとっては、楽しい学校、保護者にとっては、信頼できる学校、共生社会の実現を目指した地域における特別支援教育の専門的な学校」

- 一人一人の実態把握に基づくニーズに応じた教育
- 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に行う学校
- 健康教育を基盤にした安全・安心な学校
- 将来の自立や社会参加に向けた系統的なキャリア教育
- 「教育と福祉と家庭の連携」関係機関との連携の強化、支援体制の充実
- いじめを許さず、やさしさのあふれる、みんなの笑顔が輝く学校

【家庭・地域・社会からの期待】

- 一人一人の的確な実態把握に基づくニーズに応じた教育
- 将来の自立や社会参加に向けた一人一人の成長
- 教職員の資質、専門性の向上
- 児童生徒に寄り添う指導体制の構築
- 安全・安心な学校
- 服務規律の確保
- 児童生徒・保護者の意向を最大限尊重した合意形成・合理的配慮
- 特別支援教育に関する相談支援などのセンター的機能の強化
- 地域とともにある学校づくり
- 働きやすい職場づくり

《目指す教職員像》チーム高特

「あたたかく、思いやりにあふれ、風通しのよい働きやすいチーム」
「自ら考え、声をかけながら、笑顔ではつらつと動けるチーム」
「働きがいがあって働きやすいチーム」

- すべての教員が高い専門性を発揮できるように学びあう
- 話しやすく、助け合い、新しいことに挑戦しやすい雰囲気
- 日常的に気軽に授業づくりや業務に関わる対話ができる職員室・事務室・保健室・寄宿舍
- 接遇（来校して気持ちのよい学校）
- サービス規律の確保(人権感覚の向上、情報保護、交通違反・交通事故の根絶、体罰等のない適切な指導)

具体的な取組

○みんなの笑顔が輝く学校

- ・児童生徒の自己肯定感・自己有用感を高める
- ・だれもが笑顔で気持ちよく過ごせる
- ・SOSを発信しやすい環境
- ・教職員の人権感覚の向上、説明責任
- ・強度行動障害への理解と支援方法の研究
- ・医療的ケアへの理解と支援体制

○健康教育の推進、安全・安心な学校

- ・環境整備（5S：整理、整頓、清掃、清潔、しつけ(ルール・マナー)）
- ・ヒヤリハットの共有と蓄積
- ・家庭との密なる連携(食事・体調等)
- ・防災意識、危機管理マネジメント
- ・児童生徒の変化を見逃さない温かな教師の眼差し(普段との違和感、アンテナの高さ)

○できた喜びが積み重なる教育活動

- ・的確な実態把握と授業の充実
- ・指導と評価の一体化
- ・日常的なICTを活用した指導・支援
- ・個別の指導計画、個別の教育支援計画の活用
- ・小中高12年間+寄宿舍の学びをつなげる
- ・文化・芸術に触れる活動の充実
- ・知的障害の「自立活動」の在り方等の研究

○交流及び共同学習の充実

- ・互いに豊かな心を育み、多様化への理解を図る。保護者への理解促進。
- ・計画的・継続的な指導計画の立案と実施・評価
- ・インクルーシブな学校への理解促進

○地域に開かれた学校・地域と共にある学校

- ・将来の自立と社会参加に向けたキャリア教育の充実
- ・家庭・地域と連携・発信
- ・地域の特別支援教育センターとしての役割

【教職員の多忙化解消】

○働き方改革 ～ひとりで悩まない～

- ・心と身体の健康第一（笑顔で子どもたちの前に立つ）
- ・自身の働き方に係る自己分析と改善（自己のマネジメント、セルフケア）
- ・ひとりで抱え込まない風土（困った時はすぐに相談）
- ・いつでも助け合える風通しのよい職場環境
- ・リフレッシュデー（毎週水曜日）

○業務改善～効率化

- ・学部、学年、寄宿舍を超えた連携・協働体制の構築
- ・デジタル化による校務の効率化
- ・既存業務の思い切ったスクラップ・統合